

令和5年度都立日野高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力と学習習慣の確立	教科会で教材や単元、進度を確認し、評価に生かす。小テストを年間20回程度行う。POP作成を通じて、読書の機会を設ける。優れた作品は校内に展示する。	外部の小論文コンテストなどを積極的に紹介する。探求委員会の取り組みに合わせて探求的学習のあり方を模索する。漢字検定を校内で実施する。
数学	・基礎計算能力の定着 ・思考力・判断力・表現力を働かせた数学的活動	・小テストや定期的な補習・講習を実施。 ・問題解決の過程を論理的に考察する力を、ICT機器等を用いて考え、まとめさせる機会を授業の中で設定する。	・問題解決の過程において、論理的に考察する活動をグループワーク等を通じて行い、他者の考えと自己の考えを意見交換する場を設定し、多面的な考察力の向上を目指す。
英語	「話す」活動の充実	・JETやALTによる実用的な英語を活用した授業を展開する。 ・週1回以上授業の開始時に「話す」活動をペアワークで実施する。 ・デジタル音声アプリを活用して音読練習を行う。	・JETの授業でスピーチを実施 ・探究活動において、TGGでの英語体験活動を推進する。
理科	観察・実験を通じた「科学的に探究する力」の育成	・観察・実験結果の予想、結果を踏まえた考察などを考えさせる。 ・上記の内容を意見交換したり、科学的な根拠を基にグループで議論する機会を設ける。	・理数教育推進校としての取り組みを重点的に行い、年間を通じた研究・考察を行う。 ・理数系のコンテスト・コンクールへの参加をし、発表する場を設定する。
情報	情報社会に目を向け対応する力をつけるための探究的活動の充実	・社会的な事象に対する探究活動を実施する。 ・民間の補助教材を導入し、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入	・情報Ⅱで民間のプログラミングコンテストの紹介、応募 ・プログラミングやデータ活用などの分野で活躍する専門家の映像を使い、情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習